

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

もうかっていますか～



2007年  
10  
月号



## 目次

- ☆区民まつりに参加しました ……2
- ☆学習会 ……3
- ☆実習所報告、  
虫めがね(旧テーマ) ……4
- ☆虫めがね(新テーマ) ……5  
～3大連載～
- ☆小野塚さん連載 ……6
- ☆太田さん連載 ……7
- ☆和栗さん連載、  
フラインドのお礼 ……8
- ☆びっくいスケッチBOOK、  
夕会、寄付のお礼 ……9  
～カレンダー注文受付中です～
- ☆風の子商品のご案内 ……10
- ☆スケジュール、編集後記 ……12

去る十月六日、七日の両日、芝公園増上寺一帯を、中心にみなと区民まつりが開催されました。今年は二日間とも好天に恵まれ、会場は大にぎわい。風の子会も、自主製品やカレンダーを中心に雑貨、古本等が、よく売れましたが、特にカレンダーは素晴らしい売り上げを上げることが出来ました。これも仲間達、職員さん、数多くのボランティアさんのお陰だと感謝しております。

太田 稔

みなさんこんにちは。  
お元気ですか。今年の夏は異常気象で暑さが長く続き、本当にまいりました。この秋は涼しくて、その落差の激しさに驚きました。でも、食欲の秋。大いに食べて、これからの寒い夜を乗り切りましょうね。

太田 圭子



いらっしやいませ～



今年の区民まつりは十月の第一・日曜に芝公園一帯で行われ、風の子会の会場は、増上寺黒門「福祉」コーナーの一部としてテントを三竿お借りして参加させて頂きました。一つは工房のオリジナル商品の販売、一つはバザー関連の販売そしてもうひとつは企画のきょうざれん関係の商品とゲームコーナーとして使わせていただきました。

当日は多くのボランティアさんにご協力頂き、参加することができました。ボランティアの皆さんありがとうございました。

三木 直人

区民まつり

売上金額報告

工房（手作り商品等）

一〇一、七五〇円

企画（カレンダー等）

※注文数 二件

八七、七八〇円

バザー（古本等）

ゲームコーナー

六四、七一五円

総売上金額

二五四、二四五円

皆さま、

お買い上げありがとうございました。

ございました。

# 学習会報告

担当：小野塚

## 9月12日 ビデオ鑑賞 「特攻野郎Aチーム」

ベトナム戦線で活躍しながらも、濡れ衣を着せられ刑務所へと送られたクラック特別奇襲部隊。しかし、彼らは逃亡し、鮮やかな手際で巨悪を粉砕する…。アメリカの古き良き時代のテレビドラマをみんなで観ました。お決まりの勧善懲悪ドラマは、頭を使わずに観られるので楽です。



## 9月5日 明学実習生 との交流会

8月に実習生としてきていた明治学院の学生が、この日が実習の最終日だったので、彼らを中心にレクリエーションを行いました。実習生の自己紹介やメンバーと職員を彼らを感じたイメージをクイズ形式でやりました。真面目で誠実で、立派な志を持った学生でした。



## 9月19日 前半・英語 ／後半・坊主めぐり

前半は職員の金子さんが講師となって英語の授業を行いました。アルファベットや単語の発音や、英語のことわざをわかりやすく教えてくれました。後半は2班に分かれて坊主めぐり。どちらの班もとても盛り上がっていました。

## 9月26日 前半・数学 ／後半・音楽鑑賞

前半は数学の勉強会。田村君が用意してくれた数学の問題をみんなで解き合いました。子供の頃に通っていた公文を思い出しました。後半の音楽鑑賞はメンバーが持ってきたCDをみんなで聴きました。“桃太郎”という人のアルバムが少し気になりました。



## 10月3日 区民まつり準備

週末に控えた港区民まつりの準備を企画と工房それぞれに分かれて行いました。時間が迫っているなか、メンバーも職員も必死に作業に取り組んでいました。



# お便り

秋は、区民まつりなどのバザーがたくさん控えているので、自主製品作りは大変です。和紙ハガキのハンコ押しをやっているのですが、ハンコがすり減ってうまく出なくなってきたので、新しいハンコがほしいと思います。それ以外には、キャンディー台作りとかを楽しんで、がんばって内職をしています。これからも、内職を何でもやっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

永澤 心一

*We are just married*



## 実習所報告

# お便り

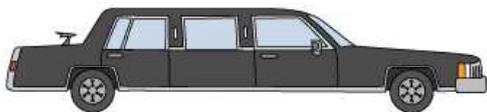
いつも十月の区民祭りで、お馴染みの来年のカレンダーが、今年はまだ到着していません。企画一回首を長くして、待っているところ。何故こんなに、待っているかと言えば区民まつりが今年は一週早まるからです。このままでカレンダーが来まないと、何か他の物を販売しなければなりません。

太田 稔



## 虫めがね

新しいお題に行く前に「変わった夢の話」、最後のお二人が残ってました。それではどうぞ。



僕が高校の時は将来、自動車のデザイナーになりたいと思っていました。それは車椅子に乗ったまま楽に乗り降りが出来て、デザイン性に優れた自動車を開発してみたいと思っていました。これからは斬新なデザインの車が数多く発売されて、選ぶことに迷ってしまうぐらいになればと期待しています。

佐久間 庸

お父さんに怒られた夢を見たことがあります。29年前、喧嘩を仲裁しようとして平手打ちされました。痛かったです。

寿司屋の後継ぎになれと兄が夢の中で言われました。また、今は亡くなった兄さんとあてもなく一緒に温泉行った夢も見ました。女風呂に入った夢を見た。彼女欲しいです。お嫁さん求むと兄さんに相談してました。

俺の話終わります。



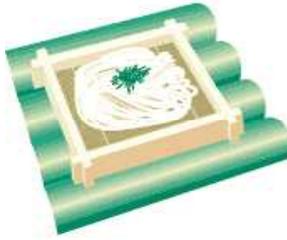
松本 恵司



今回からテーマが新しくなります。「好きな食べ物・嫌いな食べ物」です。メンバーの好き嫌いはいったいなんでしょうか。

今更という感じもしますが（結構知られている為）、好きな食べ物はまずすぐに挙がるのが「蕎麦」です。だからと言うか、蕎麦には結構拘りがあります。色々な所にも食べに行っています。色が綺麗に思われる所はすぐ候補から絶ち、絞られていきます。例えば近くでも美味しくなかったら勿論行かず、態度遠い所まで食べに行きます。けど馴染みにしている所がどんどん潰れていつているので、美味しい店情報を教えて頂きたいです。

嫌いな食べ物 沢山  
ありますが、よくこう  
いう質問をされてすぐ  
に挙げるのは「キノコ  
（食感がヌメヌメした  
物）」です。まあ今迄出  
会った食べ物の中で絶  
対に食べられない物は  
無いかと思われず。



田村 亮彦

僕の好きな食べ物・嫌いな食べ物についてですが、いろいろとありすぎて何を書いたらいいか判りませんが、一番の好物といえれば高級食材で、お刺身で、その中でもマグロの刺身が最高です。その他には、高級和牛（近江牛・松阪牛など）も好きで、肉料理では、焼き焼きが大好きです。さらに、ウナギのかば焼きも大好きです。ですがもちろん庶民的な料理も好きで、麺類（ラーメン・うどんなど）も好きです。毎日食べても飽きないのはお漬物です。胡瓜のぬか漬や茄子の浅漬が好きで、僕が子供の頃から毎食のように食卓に並んでいて、今でも風の子に持ってきて昼食になると食べているほど大好きです。その反対に嫌いな食べ物は、フルーツ全般的に嫌いで、貝類も嫌いですし、トマトも大嫌いです。それ以外でも嫌いな食べ物があるのですが、今回はこれくらいにしておきたいと思えます。



田中 聡

若い頃は美味しいものは何でも食べたいという欲求が強かったが、最近あまり食に対する欲が薄れてきたように感じる。そもそも、食べたり喋ったりという口を動かす行為があまりうまくできない僕は、果物にかぶりついたり、焼き肉を口いっぱいにはおぼつたりすることが厄介で、年を重ねるごとに食事自体

への興味も減ってきているのだ。そのかわり、というのなんだが、酒と煙草は徐々に増えてきているように思う。そうはいってもアルコール中毒になるほどの量でも肺ガンで体を害するほどの本数でもなく、適量適数ではあるが。酒に酔う感覚、煙草で脳が麻痺する感覚、それらの得も言われぬ恍惚感は、日常でのストレスを一時的に忘れさせてくれる。そうそう、確実に嫌いだと断言できる食物が一つある。しいたけだ。あれは味も食感も匂いもすべてが駄目だ。存在自体が許せない。子供の頃に特にトラウマがあった訳でもなく、物心ついた頃にはすでに受け付けられなかった。できれば今後二度とお目にかかりたくない食物だ。



小野塚 航

きらい食べものはとろろです。口の周りがかゆくなるからです。好きな食べ物はカレーです。辛い食べ物が大好きです。



右田 鷹子

## わたるのドミトリライフ

【ドミトリとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第3話 秋の一大イベント

秋には毎年恒例の寮祭がある。寮の各階の一部屋をバーや居酒屋などに飾って、寮生みんなで飲んで騒いで暴れて、という乱痴気パーティーが繰り広げられるのだ。寮の入り口前の小さな広場にステージを設置し、大きな立て看板を立て掛ける。寮祭の始まりはみんながここに集まる。男女1カップルが学校の方から聖火のように火を灯した松明を掲げて駆けてくる。広場の中央に用意されているキャンプファイヤーのようなたき火に火を加えて、寮祭はスタートする。司会が挨拶し、誰かがギターの弾き語りをし、また誰かが一発芸を披露し、“裸族”と呼ばれる謎の集団がどこからともなく現れてステージを闊歩してまたどこかへと去っていく。そしてたき火を中心にみんなが輪になってフォークダンスを踊る。そうして祭りの第一部は終了する。

ステージや広場での催しが一通り終わると、寮内へ戻って各所で酒盛りが始まる。僕が住んでいた2階フロアは昔から伝統的にオカマバーをすることになっていて、1年生は伝統的に（あるいは強制的に）女装をしなければならない。先輩に服を脱がされ、ワンピースを着せられ、女性の先輩に化粧をされれば立派に“オンナ”の完成だ。店に入ってくる客を「いらっしゃいませえ〜」と迎えば『あたしってけっこうイケるかも？』などと冗談半分に思ったりもしたものだ。ただ、スカートのあのフワフワした感覚だけは二度と体験したくはないが。

あちこちで酒を飲みつつのどんちゃん騒ぎは続く。1階の裏側に小さな空き地があり、祭りの間はそこにテントを張り、畳を敷いて、近所の居酒屋から借りてきた炉端焼きをセッティングして焼き鳥を焼く。“ほおずき”と呼ばれるそのスペースは、寮を卒業した人達の集まる場となる。OBにとって同窓会のようなその場は、とても大切であり、その場を担当する寮生にとってはひとときも緊張感が抜けない接待の場である。今はもうたぶんあまりないだろうが、当時の寮にはそんなふうにしてOBがよく顔を見せに来ていたものだ。

寮祭の企画、準備、運営は1年が担当を任される。実行委員を立ち上げ、会議を重ね、祭りの準備をすすめる。わからないことや行き詰まった時は先輩達から助言を仰ぐ。そうして先輩後輩の付き合いはより深まるし、何より一つの行事を仲間同士で作り上げる事で、一体感と連帯感ができるのだ。

さんざん飲み明かした翌日の昼頃、みんなで寮前に集まって餅つきをする。いつの頃からかあった杵と臼を持ち出し、用意した餅米を臼に入れて餅をつく。決して出来映えはよくないかもしれないが、そうしてみんなですいた餅の味は忘れる事はないだろう。

～ 第4話へ続く ～

# 母の思い出

## 第四回

太田 稔

父が戦死したことがわかると父方の祖母は母を、お手伝いさん代わりに使い始めた。母は仕方なく姑の言うことを素直に、聞いていたが、内心ではこんな事を考え始めていた。「私は早く東京に戻りたい。こんな田舎にはいたくはないわ。稔を大きな病院で診察してもらいたいし、東京の父や母にも会いたいし、とにかくここには長くは居られないわ。それには何か理由がないとこの家から出られないわ」書き忘れていたが、母にはもう一つこの家を出なければ、ならない理由があった。それは祖母が昔の人だったため、僕の病気を理解するどころか、「この子の体には狐が付いている、だからそれを追い出す為に、お払いをしないと治らないよ。しかも稔の場合しぶとい狐らしいから、三日に一度はやらないとね」そのお払いとは僕を布団の上に寝かせてなにやら分からぬ、お経を唱え始めそれが佳境にはいると、僕の体中を平手打ちする。それを二分くらい繰り返しては一分ぐらい休むと行った具合、これが十五分も続くのだから堪ったものではない。体は真っ赤になり所々に傷が出来る。母はそんな僕を観ていられたかった。

それから二年くらい経ったある日、僕の叔母から一通の電報が届いた。開いて母の顔色が見る見るうちに、青ざめていくのを子供ながらに覚えている。その電文は、「チチハハユクエフメイ」というものだった。書き遅れたがこの出来事は、昭和二十四、五年頃キティー台風が南関東に上陸、瞬間最大風速は僕が幼かった事もあって分からなかったが、四十五mから五十mに達しただろうと思う。僕と母が疎開していた滋賀県大津市でも、この台風の余波で電信柱が倒れてしまい、停電してしまふ始末。あの頃は停電すると都心でも復旧するのに一日くらいはかかったもの、まして琵琶湖からローカル機関車に乗り換えて一時間、それから一日に一往復しかしていないバスに乗り換えて約二時間、つまり琵琶湖から数えると約三時間あまり掛けて、ようやく目的地横山村に着くという不便きわまりない所、だから電気はあっても復旧するのに二、三週間は平気でかかる始末。特にこのキティー台風では関西電力では大阪市内の被害が大きい為、市内から復旧が開始されるという具合。一週間後叔母からまた一通の電報が来た。電文は「チチハハブジ」というものだった。母はそれを僕に見せて言う。「東京のおばあちゃんのところへ帰ろう」母はある決意をした（このままでは私と子供二人は東京に帰れなくなってしまう）このとき彼女はこんな風に決断した。「もしこのままここにいれば、稔の病名も分からない治療法も分からない。今がここを出る絶好のチャンスかもしれない。」その後半年が流れた。その間祖父が腸捻転で命を落としてしまった。ここが僕にもよく分からないのである。キティー台風が先か祖父の死が先か、とにかく母は僕を背負いその家を出た。

次回に続く

## 第四七回 （シベリヤ出兵 秘話）

瀬藤大佐が部下に命じた、閣議決定の日本政府機密命令の内容とは、ロシア革命によって、ニコライ二世一家と、その親族、郎党が、革命軍によって殺害され、これによって、ロシア帝国と王室は、終わりを告げた。ニコライ二世一家が、我が国に、亡命をするための総額二億円相当の、金塊の輸送を我が陸軍に託し、万難を克服し無事任務を遂行した。これは、瀬藤大佐指揮の元将兵全員一丸となり、困難な長距離極秘金塊輸送作戦の大成功で、京城（ソウル）まで、万難を克服し無事到着したことは、帝国陸軍の名誉であり、誉れである。よって陸軍大臣より、感状が与えられた事は、我が部隊の名誉である。瀬藤大佐は、部下の将兵に向かつて、こう報告すると、次に諸君に政府・参謀本部からの極秘命令を伝える。瀬藤大佐の顔が急に曇った。諸君が疲れ果てていることは、この私が十分承知しているのだが、我々は軍人である以上どんな命令でも、これに従う義務と責任がある。瀬藤大佐は、部下達を見渡すと、これから命令を伝達する。全員が直立不動の姿勢、頭一中（かしらーなか）の号令、瀬藤は答礼をすると、これより命令書を読み上げる、車内に瀬藤大佐の声が響き渡った。

次回に続く。



栗 あきら

スラインドカーテンを  
替えました！

六本木ライオンズクラブの戸田あきら様より港区心身障害児・者団体連合会を通じて御寄付いただけるとのことで、風の子会ではその寄付を利用して老朽化していたスラインドカーテンを新しく買い替えることにしました。新しいスラインドカーテンはやはり綺麗で、心なしか窓から見える景色も新しくなりましたよ。戸田様どうもありがとうございました。



小野塚 航

## びっくりイラストBOOK

「決して忘れない」

あの日、最後になるなんて思わなかったのです。いつものように夕食をとり、彼と私はテーブルをはさみ、話し合いました。急に私は、思いついたように「東京へ帰りたい。何もいないから、帰りたいだけだから。」って言ったんです。何のトラブルもなく仲良く生きてきた二人でした。でも、急に帰ろうと思ったのです。29歳でした。30歳までに直さなくてはと、元夫のことなど何も考えず、思いやりや、優しさや世間体など、一切、私の頭の中にはありませんでした。ただ、自分だけの楽しい将来を、描きつつ。

その時、元夫は号泣しました。私は、今までに男が大きな声を出してなくなると、見たこともない。とてもビックリしました。彼が号泣したのは、「愛」とか「好き」とか、そんな小さなことではなく、人生の設計図が、今ここで、私のような軽薄な女にビリビリと破られたことだったと思うのです。翌朝、私は、いつものように彼の朝食を作り、洗濯機の中でまわる衣類を見ていました。ただただ、ボーッと。そしたら、そのとたんに今、帰ろうという思いが頭の中で雷のように炸裂したのです。気がついた時には、着の身着のまま、東京行きの新幹線に乗っていました。そして今に、至ります。私は、あの時を忘れません。一生涯、忘れません。人の人生に汚点をつけてしまったことを。すべて、棺おけに持っていきます。未だにあの時の洗濯物と、洗わずにおいてあったテーブルの茶碗はどうなったのかな？とか誰がかたづけたのかな？なんてバカなことも、思い出します。

吉田 久代

## 寄付のお礼

(九月九日～十月七日)

物品を下さった方

高木愛子様 牛山様

柏輝男様

藤本様

ご寄付を下さった方

薛永日様 薛陳月美様  
国枝三代子様

薛美莎様、美莉様、  
芬芳様

賛助会にご賛同下さった方

松澤廣司様、昱世様、吉招様 亀田いづみ様  
伊藤めぐみ様 小野田和子様 山崎真理子様 神谷和子様  
綱島辰也様 染谷寿美恵様 森美代子様 中山信孝様

誠にありがとうございました



## 夕会便り

9月8日は、まず、恒例となっている港区民まつりについて話をしました。今年も企画と工房の2テントに加え、第3テントの使い方について話をしました。今年の第3テントもゲームとバザー品を売ることになりました。そのあとヒューマンプラザまつりの出欠確認をしました。

また、12月8日(土)の障害者の日記念式典での施設案内に出席する代表を決めました。

最後に12月21日、22日の2日間に渡って行われるきょうされん全国大会について説明がありました。今年場所は東京なので、全員で行くことになりました。

9月29日は、4月からの自立支援法移行について、話し合いました。今度風の子会は、就労支援B型と、生活介護多機能型に成る予定です。また、移行した後、作業所の名称を変えるか変えないかで話し合いました。

天海 隆一

## ☆風の子商品はいかがですか☆

いつも風の子商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
今年もカレンダーと一緒に風の子商品を紹介します。  
是非、カレンダーと併せてご注文下さい。

### 産地直送の日本茶

（静岡から仕入れている美味しいお茶です）

特選やぶきた茶（緑茶）	（100g）	1000円
やぶきた茶（緑茶）	（200g）	1200円
ほうじ茶	（150g）	400円
玄米茶	（150g）	300円



### きょうされんふきん

（丈夫で長持ち。使いやすいふきんです）



1枚入り	200円
3枚入り	550円
5枚入り	900円

### アクアモック

（米ぬか100%の洗剤で手も荒れず他の物にも使えます）

アクアモック	300円
専用スポンジ	140円



### 名刺作ります

（デザインのご注文承ります）

片面印刷（100枚）	1200円
両面印刷（100枚）	1700円



### はがき作ります

すばやい製作・納品は出来ませんが、お客様のご要望に出来るだけお答えし、また提案させていただくことで、ひとつひとつ心のこもった名刺・はがき作りを心がけています。ご注文お待ちしております。

モノクロ印刷	1000円～
カラー印刷	1500円～

カレンダー、その他の商品のお申し込み・お問い合わせは

〒108-0075

港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

NPO法人風の子会

電話 03-5479-7155 FAX 03-5479-0180

**2008年**

## **新春カレンダー販売のお知らせ**

最近少しずつ秋風が吹いて、朝夕と涼しくなってきました。そして今年もまた、来年のカレンダーの販売の時期になりました。来年の2008年新春カレンダーもバラエティーに富んでいます。

きょうされんで毎年開かれているカレンダー作品コンクールで入賞した作品13点を掲載した「働く仲間のうた」カレンダーの他、美しい写真、綺麗なイラスト、人気のキャラクター等のカレンダーも多数取り揃えてあります。どうぞチラシをご覧ください、FAX 又は電話でご注文下さい。宜しくお願いします。

私達風の子会は、共同作業所全国連絡会（きょうされん）に加盟している港区の障害を持つ人達の作業所です。この販売活動は、共作連や作業所の活動資金や障害のある人達の収入を得る為の活動です。是非、ご協力の程、宜しくお願い致します。

### 注文方法

※注文方法は以下の二通りあります。

- 風の子会へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会へ注文用紙を持って来る。

\*・・商品のお届けは、ご注文締め切り後、約10日前後とさせていただきます。

\*・・港区内は、配達致します。  
配達の際は、代金引換となります。

\*・・郵送の際はお手数ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局にてお振り込み下さい（手数料は無料です）。  
お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。

### **締め切り日**

**第一次締め切り 11月7日（水）**

**第二次締め切り 11月28日（水）**

